

平成 18 年度「専修学校教育重点支援プラン事業」成果報告書

事業名	「General Conditioning Manager（総合的健康管理者）育成のための4年制柔道整復学科ウィメンズコース」開設に向けての新教育プログラム開発事業		
法人名	学校法人こおりやま東都学園		
学校名	郡山健康科学専門学校		
代表者	理事長 春日 一夫	担当者 連絡先	前田 満雄 TEL: 024-936-7777
<p>1. 事業の概要</p> <p>高齢化社会を迎えた現在、わが国の医療・福祉政策は、これまでの治療型から予防重視型へと転換を図っている。そのような中で最近、我が国独自で発展してきた、日本古来の伝統的な柔道整復術から発生している柔道整復師への重要性が高まってきた。柔道整復師は、骨折や脱臼等の施術の他にリハビリテーション、スポーツ障害スポーツトレーナーと幅広く活躍し、最近では介護保険の施行以来、介護分野での機能訓練指導、運動指導、更には在宅介護にも関わっている。また、柔道整復師は、国家資格取得後に整骨院（接骨院）の開業が可能であり、セカンドキャリアアップサポートとしても有効な資格である。</p> <p>しかし、柔道整復師資格取得のための養成校は増加しているものの、男性の希望者が圧倒的に多く女性が極端に少ないのが現状であり、患者（特に女性患者）からは、女性セラピストを求める声も大きい。従って、今後は女性のための柔道整復師の養成システムが必要となる可能性が高い。</p> <p>本事業では、このような状況に鑑み、柔道整復師資格に加えて健康科学に関する幅広い社会のニーズに対応する統合的なスキルと積層型資格を持つ General Conditioning Manager（総合健康管理者）として活躍できる女性セラピスト養成のための4年生柔道整復学科ウィメンズコース開設を検討し、新教育プログラム開発の実践的モデル事業としてのニーズ調査、実地調査を行い、具体的教育プログラム開発を行うとともに、過去3年間本学で行ってきた社会人キャリアアップ事業において取り組んできた CBT ツールを用いた eラーニングシステム活用による社会人学生のための遠隔教育システムの構築と実証を行った。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p style="margin-left: 20px;">目的・重点事項の達成状況</p> <p>本事業の目的は、柔道整復師資格を基本とし、健康科学に関する幅広い社会のニーズに対応する統合的なスキルと積層型資格を持つ General Conditioning Manager（総合健康管</p>			

理者)として活躍できる女性セラピスト養成のための4年生柔道整復学科ウィメンズコース開設を検討することが主目的であったが、ニーズを探るためのアンケート調査、および教育プログラムとしての「接遇とマナー」「カラー・コーディネート」「アロマ・セラピー」「アクア・ボウリング」という4つの実証講座を実施し、当初の目的はほぼ達成された。

事業により得られた成果

教育プログラム作成の目的で行った各講座とも反響は大きく、GCM 育成のために本実証講座を含む積層型資格取得プログラムが極めて有用であることが明らかになった。

今後の活用

高齢社会を迎えた我が国において、健康予防が求められている現在、本事業の成果を活用し、総合的な健康管理を目的とする、女性柔道整復師と GCM の資格を兼ね備えた人材の育成を目指していきたい。

3. 事業の実施に関する項目

ニーズ調査等

調査のねらい： 本事業の特徴である新教育プログラム構築を検討するため、現状における柔道整復師の認識度と女性スポーツ選手のセカンドキャリアアップへのニーズを調査する

対象： 高校生 527 名、大学生 114 名、大学院生 48 名、専門学校学生 1,058 名、社会人 130 名、合計 1,877 名

調査方法： マークシート記入と自由記載によるアンケート調査票を郵送して実施

調査項目：

1. 属性把握 (10 項目)
2. 入学希望者 (検討者) の現況と医療専門職教育プログラムへのニーズ (14 項目)
3. 女性セラピスト養成のニーズ (3 項目)
4. 利用者側から見た女性セラピストへのニーズ (2 項目)
5. スポーツ選手へのセカンドキャリアについてのニーズ (4 項目)
6. e-ラーニング、IT スキルの現況とニーズ (7 項目)

実証講座

目的： GMC (General conditioning manager) 育成のための新教育プログラム開発に際しての必要条件を検討する

女性スポーツ競技者のセカンドキャリアサポートとしての教育プログラム推進を踏まえて、e ラーニング (遠隔教育システム) の有効性を検証する

実施：合計4回の実証講座を行った。

第1回：「接遇とマナー」

平成18年12月21日実施，講義時間90分，受講生67名，

CBTシステムを使用し、本校と遠隔教室、インターネットカフェ、個人宅を結ぶ

第2回：「カラー・コーディネート」

平成19年1月25日実施，講義時間90分，受講生82名

CBTシステムを使用し、本校と講師の職場（兵庫県神戸市），老人保健施設（秋田県）を結ぶ

第3回：「アロマ・セラピー」

平成19年2月15日実施，

演習が含まれるので午前と午後の2回に分けて実施した

講義時間90分，受講生 午前，午後の合計47名

CBTシステムを用い、本校と個人宅を結ぶ

第4回：「水中運動とアクア・ボウリング」

平成19年3月5日実施

ほとんどが実演なので、午前と午後の2回に分けて、本校の室内プールにて実施

講義(実演)時間120分，受講生15名（本校教員と郡山市一般市民）

カリキュラムの開発

上述したアンケートによるニーズ調査および、実証講座に対するアンケート結果から、女性に特化したプログラムとしては、柔道整復師資格取得のためのカリキュラム以外に、アロマ・セラピーやアクア・ボウリングなどを指導するカリキュラムを加えた4年生カリキュラムにしてゆくことが必要であるとの結論に達した。実際の開発は今後の課題である。